

# 「一人一人が自分らしく生きるために」

菅平小学校 五年 今井 心琴

私は何度か本やインターネットに男女差別でいやな思いをしているという話を見たことがあります。話を見たとき、私は大丈夫だと思っていたし、そんなに大へんじやないと思っていたからびっくりしたし、しんじられませんでした。私は、男女差別についてたくさん考えたことがあります。もしも男の子のような服が好きで髪を短かくしたいという女の子に「髪だけでも女の子らしくないさい。」というのは本当に正しいことなのかなと思いました。そもそも女の子らしさ、男の子らしさとはなんだろうと思いました。男の子が桃色が好きではだめではないし、女の子がズボンをはいたり、髪が短いのはだめなことではないと思います。自分のことは自分で決めていいと思うし、周りの人がその人の生き方を決めることはよくないと思います。私はいろんなことを考えて、こんな風になってほしいなと思うことができました。男女差別によってつらい思いをする人がこの世界からいなくなることです。一人一人が自分らしい生きかたをし、幸せになってほしいと思います。男女差別がなくなれば、日本だけでなく、世界が、地球が変わると思います。地球が笑顔あふれるようになるためには、一人一人の行動が大切だと思います。私は、もし男女差別でこまっている友達がいたら、よりそい、相手の気持ちを分かってあげたいし、味方になってあげたいと思います。ふだんから友達がこまっていたら「大丈夫。」と言ってあげるようにしたいです。私の行動で少しでも悲しい、つらい気持ちになる人が減るといいです。